

令和6年4月4日 答申「大網白里市立小中学校の適正規模及び市内小中学校の今後のあり方について」（抜粋）

4 学校規模適正化に向けた方向性及び各学校の今後のあり方について

本審議会では、以上の内容を考慮した上で、各学校の今後の望ましい方向性については、現時点で以下の通りといたします。

① 大網小学校

大網小学校は現在22学級で、学級数は適正規模を上回っている状況にあります。しかしながら、現時点で学校運営に大きな支障が出ていないことや、現在の住民登録者数がこのまま仮に推移した場合は、児童数の減少傾向が続く、将来的に適正規模に収まることが見込まれることから、当面は現状維持を基本としつつ、隣接校との統合をする場合は、現在の規模を超えない程度で行うことが適切と考えます。

② 瑞穂小学校

瑞穂小学校は学級数の適正規模を満たしており、現在の住民登録者数がそのまま推移しても、ある程度の期間適正範囲に収まることが見込まれることから、当面は現状維持が適切と考えます。

③ 増穂小学校

増穂小学校は学級数の適正規模を満たしておらず、今後も児童数の減少傾向が見られます。隣接する学校も適正規模を満たさない、若しくは距離が離れていることから学区の見直しは難しく、人口増加に伴い増穂小学校が平成6年に増穂北小学校を新設し分離した経緯等を踏まえると、隣接する増穂北小学校との統合が適切と考えます。

④ 白里小学校

白里小学校は学級数の適正規模を満たしておらず、今後も児童数の減少傾向が見られます。隣接する増穂小学校も適正規模を満たしていないことから学区の見直しは難しい状況にあります。また、統合については、隣接する増穂小学校との距離が離れていることが懸念されます。

よって、現状では、白里中学校との小中一貫教育を導入し、教育環境の向上を図る方法が適切と考えます。ただし、小中一貫教育の導入では、適正規模を満たさないことから、増穂地区の小学校との統合についても引き続き検討されたいしてください。

⑤ 大網東小学校

大網東小学校は、現時点で学級数が適正規模を下回る状況にあります。

しかしながら、現時点で学校運営に大きな支障が出ていないことや、他の地区と比較して集合住宅が多く、居住者の出入りも多い点などを考慮すれば、当面は現状維持が適切と考えます。ただし、今後の人口動態は注視していくことが必要であると考えます。

⑥ 増穂北小学校

増穂北小学校は学級数の適正規模を満たしておらず、今後も児童数の減少傾向が見られます。隣接する学校も適正規模を満たしていないことから学区の見直しは難しく、人口増加に伴い増穂小学校が平成6年に増穂北小学校を新設し分離した経緯等を踏まえると、隣接する増穂小学校との統合が適切と考えます。

⑦ 季美の森小学校

季美の森小学校は学級数の適正規模を満たしておらず、今後も児童数の減少傾向が見られ、将来的に複式学級の発生が懸念される状況にあります。学区の見直しや小規模特認校制度の利用も難しいものと考えられることから、児童の教育環境の更なる向上を考慮すると、隣接校である大網小学校との統合が適切と考えます。

ただし、季美の森小学校は高低差や距離という地理的側面や、児童の年齢を考慮し、統合にあたっては、通学手段について、特に重きを置いて検討する必要があると考えます。

⑧ 大網中学校

大網中学校は、現在22学級で、学級数は適正規模を上回っており、当面はこの状況が続くことが見込まれます。ただし、現時点で学校運営に大きな支障が出ていないことや、現在の住民登録者数がこのまま仮に推移した場合は、生徒数の減少が続き、将来的に適正規模に収まることが見込まれることから、当面は現状維持が適切と考えます。

⑨ 白里中学校

白里中学校は学級数の適正規模を満たしておらず、今後も生徒数の減少傾向が続くものと見込まれます。

隣接する増穂中学校は現時点で適正規模を満たしておりますが、生徒数は白里中学校に次いで少なく、学区の見直しは難しい状況にあります。また、統合については、距離が離れていることが懸念されます。

よって、現時点では、白里小学校との小中一貫教育を導入し、教育環境の向上を図る方法が適切と考えます。ただし、小中一貫教育の導入では、適正規模を満たさないことから、増穂中学校との統合についても引き続き検討されたいしてください。

⑩ 増穂中学校

増穂中学校は現時点で適正規模を満たしており、現在の住民登録者数がそのまま推移しても規模を満たす見込ですが、生徒数は白里中学校に次いで少なく、将来的に適正規模を下回る可能性が高まっています。

当面は現状維持が適切であると考えます。ただし、今後の人口動態は注視していく必要があると考えます。

○付帯事項

上記に掲げた各学校の今後の望ましい方向性に加え、全校に関連する以下の事項についても、併せて検討する必要があると考えます。

- ・ 白里地区に所在する白里小学校と白里中学校については、津波避難施設に位置付けられていることから、計画の策定にあたって、防災面に配慮されたいしてください。また、白里小学校や白里中学校以外の学校についても、統合という手段を用いる場合は、防災施設に位置付けられていることから、同様に防災面に配慮されたいしてください。

- ・ 小規模校の今後の望ましい方向性の実現にあたっては、運動会や合唱コンクールなどの行事を合同でやる方法などもあることから、その他の方法についても引き続き検討されたい。

- ・ 学校のあり方に関連して、部活動の地域移行の動きがあることから、部活動そのものを地域コミュニティの中に組み入れることについて検討されたいしてください。

- ・ 学校の統廃合や小中一貫教育の導入等により、児童生徒の通学に変化が生じる場合は、交通面や防犯面の安全に最大限配慮されたいしてください。

- ・ 児童生徒数の均衡という観点から、学区の見直しという手段についても、引き続き検討されたいしてください。

- ・ 学校の適正配置にあたっては、スクールバスが重要となってくることから、スクールバスの運用方法について、全体的な方向性を踏まえた計画にすることが

望ましい、と考えます。

- ・ 学校の統廃合だけでなく、スクールバスを活用多用し、それぞれの学校をこのまま存続させる方法についても、検討されたいしてください。

- ・ 小規模校について、学校を地域コミュニティの場核として位置付け、規模はそのままにし、空き教室等を地域に開放する方法についても検討されたいしてください。